育てあい、育ちあう

広報 NO8

わかば

２０２２年夏号

（２０２２年７月発行）

社会福祉法人わかば会

盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木浩太郎
TEL：０１９－６１３－５６１１
fax：０１９－６６２－５１２１
https//www.wakaba-kai.or.jp

法人の理念

＊ 社会福祉法人わかば会は、子どもの人権を尊重し保護者と協力しながらその健やかな成長のために尽くすとともに、保護者が安心して子どもを預け働ける環境づくりに努めます。
＊ 未来の主人公となる子ども達の権利を尊重し、豊かな乳幼児期を保障することを基本とし、保護者の皆様と一緒に保育を創っていくことを大切にしてまいります。
＊ 子どもが本来持っている能力を引出し、豊かな感性を育み、一人ひとりが仲間の中でゆっくりじっくりと自分を育てていけるような保育環境づくりに努めます。
＊ 子育て支援や地域福祉の向上を目指し、地域の子育ての拠点となるよう努めます。

法人運営施設

■わかば保育園　（６６１－３１０３）
■北松園風の子保育園　（６６３－２２１７）
■本宮保育園　（６３６－１４４６）
■うえだ保育園　（６６１－１２３４）
■宇宙学童クラブ　（６６２－１１１３）

みんなで力合わせて沢登りにチャレンジするぞォー
（うえだ保育園キャンプ）

新年度を迎えて

うえだ保育園は、盛岡市立保育所の民営化により、わかば会４園目の保育園としてスタートし、今年度は４年目に入ります。定員は１１０名。昨年度からクラス名をわかば会共通の名前に変え、法人内では、呼び慣れたクラス名で話が通じることになりました。一歩一歩「わかばの保育」に近づいています。

３月末日に関係者にコロナ感染者が発生し、３日間の休園に至り、保護者の皆様にはご迷惑、ご心配をおかけしました。本当に申し訳ございませんでした。

その後、関係者にコロナ感染者が発生せずに来ておりますが、予断を許さない状況が続いております。昨年度よりは、件数は少なくなっていますが、関係者からＰＣＲ検査を受けることになった、濃厚接触者になった等の連絡は、後を絶ちません。

一方、マスク着用について、厚生労働省から「就学前の子に着用を一律には求めない」「夏場は、熱中症予防の観点から、必要ない場面では外すことを推奨」と示され、これを受け、職員間で協議し、マスクを外す場面を多くした「感染症予防対策」を改訂しました。

現在、うえだ保育園が取り組んでいることは、クラス懇談会とキャンプの実施です。どちらも初めてのことです。クラス懇談会は５歳児、４歳児は先日終えましたが、他のクラス懇談会は検討中です。

キャンプは、キャンプ地等の入念な下見・打合せ、５歳児のクラス懇談会での説明、保護者さんからの質問事項（緊急時の対応、持ち物、コロナ発生時の対応基準等）への回答を作成・配付しました。

子ども達は散歩、クッキング、飯盒炊き、買い物等を行い、万全の体制で臨み、網張温泉での１泊２日のキャンプを無事終えることができました。子ども達の元気と適応力に驚いております。皆様お疲れさまでした。

このような状況ですが、国内外は、無責任、非科学的、非道徳的なことが横行し、核戦争のおそれ、平和憲法が危うい事態にもなっています。平和があっての私たちの生活、くらし、そして保育があります。

戦争への道は絶対に許してはいけません。私たち大人達は、子ども達に平和を引き継いでいくのが使命ということを改めて噛みしめています。

うえだ保育園　園長　千葉　勝

新年度を迎えて ほいくえん紹介

わかば保育園

わかば保育園は創立42年目を迎え、園庭の庭木も大きくなってきました。

念願かなって作った園庭の田んぼも、大きな木の枝の陰に隠れ『半日村』状態…。そこで保育者が伸びた木の枝をバサバサと切り落とし、風と光が心地よく入るようにしました。

本物ののこぎりを使って

そんな様子を見ていた子どもたちは、保育者が切った木の枝やのこぎりに興味津々です。

「切った枝はどうするの?」

「ぼくたちものこぎりやってみたい!」とおしごとに挑戦。切った枝を組み合わせ、何やら面白いものをつくっていました。

これを機会に、子ども達がのびのびと遊ぶ園庭にするにはと、先生たちも趣向を凝らします。切った丸太を横にして板と組み合わせたシーソーや、木の枝に紐をくくりつけたブランコづくり、くるみの木の下にいろんな虫が来るようにと、土づくりにも挑戦しました。

その時に活躍したのは、のこぎりやスコップ等。子ども達は本物の道具を使う喜びを感じながら、自分達の園庭づくりに精を出しています。

これから来る夏に向けて、園庭の井戸も大活躍します。みんなでつくる〝どろんこと太陽が友だち〟の保育園は、これからも変化し続ける予定です。

ギッタンバッコン　バランスをとって

北松園風の子保育園

今年は春の訪れも早く、満開の桜やこぶし、ツツジなどお花見をし大きな木の下でみんなで寝転がってみたり、木登りしたり、春をたっぷり感じながら園周辺のお散歩を満喫しました。

そして、夏も駆け足でやってきました。水や砂、泥んこに触れ開放的に遊んでいる子ども達です。

感触遊びの素材はたくさんあり、小さいクラスの子達は、片栗粉・寒天・水にぬらした新聞紙等々、変化する素材に心躍らせながら、はじめは指先でツンツン、

感触あそび

そして、どんどんダイナミックになり全身を使って面白さを感じながら楽しんでいます。

大きいクラスの子は、お父さん達に設置してもらった大きなプールで水しぶきをあげながら水と仲良しになっています。

風の子の夏の始まりは、キャンプ。たいよう組は、7月7~8日、「あぐりまほら岩手」に行ってきました。

いつも雨が多いのですが、なんと今年はお天気に恵まれ（開園以来の晴天）川遊びやイワナつかみを体験。森の探険では、モリアオガエルの卵・シオカラトンボ・カワニナ・やごの抜け殻など発見し、五感を使って大自然を満喫してきました。

夜はパノラマ。満天の星空に天の川や流れ星、たくさんのホタルにも出会い自然の偉大さに感激していた子ども達でした。

5歳児　キャンプ

本宮保育園

本宮保育園は19名の新入園児を迎え現在135名の子ども達が元気いっぱい過ごしています。

なかなかコロナ感染症も気を抜けない状況が続いていますが、感染対策をしながら子ども達は、友だちや保育者とたくさんの発見や感動を共有して楽しんでいます。

先日は、つばさ組、たいよう組が近くの沢でザリガニ釣りに挑戦し見事につりあげ、新しく仲間入りしました。

その話を聞いたひかり組、そら組の子ども達は、ザリガニが保育園にいると聞きつけ、園中が一気にザリガニで大いに盛り上がります。

ちょうど夏恒例の「夏祭り会」が今年も「縁日ごっこ」として楽しむことになったタイミングと重なり、あそびコーナーは、子ども達の手作りアイテム盛りだくさんのザリガニ釣りコーナーが登場しました。

小さい子から大きい子まで楽しむことができました。

いつもより早い夏が訪れ、畑の作物や田んぼも青々としています。きゅうりやはつか大根等収穫がはじまり、子ども達は水やりなどしながら生長を喜んでいます。

これから本格的な夏到来。心も体も開放して今しかできない体験をたっぷりと友だちと一緒に楽しみたいと思います。

ザリガニ釣れたよ

縁日ごっこ

うえだ保育園

うえだ保育園は、7月現在で113名のこども達が元気に過ごしています。

つくしんぼちゃんは、ベランダにある戸板を使ってハイシ…上手に斜面の上り下りを楽しんでいます。

すぎのこちゃんは、高松の芝生広場へ行くとしゃがみこみ、お友だちとイッショにいいものの探しに夢中です。

そらさんは、裸足で外に出ると水や砂に触れ、泥をぬりたくってオオカミやオバケになったつもりで遊んでいます。ひかりさんは、憧れのたいようさんのように田植えごっこに畑づくりと何でもまねっこです。

そして大好きな絵本にも出会いプランターに「はつか大根」と「豆」を植え、毎日水やりに夢中です。

5歳児　飯ごう炊き

つばささんは高松の奥へと探検の毎日。急に木が揺れたり見慣れない足跡に「もしかして?」と、友だちと一緒にイメージの世界が広がっています。

たいようぐみははじめてのキャンプに出かけ、川遊びや山の探検、カレー作りにテント、夜には幻想的な蛍の光を見ることができました。20人の仲間と共に大自然の中、五感を十分に使い、みんなで力を合わせながら楽しんできました。

0歳児　築山のぼり

宇宙学童クラブ

今年の学童は1年生11名、3年生1名が新しく加わり宇宙学童、第二宇宙学童合わせて53名でスタートしました。

新入所を祝う会を新6年生が中心に行い、みんなで学童の遊び（皿回しや一輪車等）を発表しました。1年生は「すごーい！」「やってみたぁーい！」と期待に胸を弾ませ、現在は一輪車挑戦中の子や皿回しに成功した子など学童の遊びを満喫中です。

また、遠足の日は天候に恵まれ、5月に小鹿公園とひょうたん池に行きました。小鹿公園では背丈以上のススキが残っており、子どもたちはそこでおにごっこ。ススキの中に隠れてしまう子もいました。

ひょうたん池では、ギンヤンマや魚（どじょうかな）を見つけ大興奮。学校と学童に慣れるだけで精一杯な1学期でしたが、これから夏休みが始まります。「あぐりまほら岩手」へのデイキャンプや県立博物館の見学を計画しています。

この夏は暑さに負けず、たくさんの体験を重ね、行事を楽しみ、学童生活を充実させていきます。

みんなで
スライムづくり

何かいないかなぁ
（小鹿公園にて）

水たまりで
水路づくり

2022年度スタート

平和こそ最大の福祉

第172回理事会では、2022年度事業計画が承認されました。おりしも、ロシアによるウクライナ侵略が勃発し、罪のない国民がいのちの危険にさらされています。子どもたちに戦争のない平和な世界を引き継ぎ、一日も早い平和的な解決を望みます。

2022年度の運営方針

＊「働き方」の見直し、改革をすすめます。
＊ 職員の資質の向上と人材育成に努めます。
＊ 中長期計画の検討作成に努めます。
　中長期計画策定検討委員会を設置し、全役職員が参画して計画を作成します。
＊保育士を確保し、臨時職員の正職員化に努めます。
＊地域との連携強化及び地域貢献を強めます。
＊財政基盤をさらに安定させます。

わかば会の動き

※第１７２回理事会(2022年３月24日開催)

・コロナ対策慰労金の支給について
　昨年度に続き2021年度も職員に対してコロナ対策慰労金を正職員・臨時職員５万円、パート職員1万円を支給しました。
・2021年度第３次補正予算について
・2022年度事業計画・2022年度当初予算について

※第１７３回理事会(2022年５月26日開催)

・2021年度事業報告・2021年度決算について
・2022年度理事及び監事の報酬の総額について

※２０２２年度定時評議委員会(６月14日開催)

・2021年度事業報告と決算の承認について
・2022年度事業計画(法人)について

※中長期計画の検討作成で研修会開催。

６月16日(木)岩手県社会福祉協議会の楢木英裕さんを講師に、社会福祉法人の中長期計画の意義や策定について研修しました。

各保育園入所児童数（7/1現在）

わかば	風の子	本宮	うえだ	宇宙クラブ
88名	60名	135名	113名	52名

財務状況報告　（2021年度決算）

収支計算書　（2021・4・1～2022・3・31）

（単位:円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	保育事業収入	595,530,000	600,450,068	△ 4,920,068	
		経常経費寄附金収入	223,000	223,120	△ 120	
		受取利息配当金収入	8,000	4,953	3,047	
		その他の収入	11,397,000	12,644,921	△ 1,247,921	
		事業活動収入計(1)	607,158,000	613,323,062	△ 6,165,062	
	支出	人件費支出	452,995,172	452,865,693	129,479	
		事業費支出	56,874,291	55,581,981	1,292,310	
		事務費支出	44,310,058	43,493,314	816,744	
		支払利息支出	28,000	27,326	674	
		その他の支出	7,820,017	8,053,740	△ 233,723	
		事業活動支出計(2)	562,027,538	560,022,054	2,005,484	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		45,130,462	53,301,008	△ 8,170,546	
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計(4)				
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,140,000	1,140,000	0	
		固定資産取得支出	8,790,000	8,705,220	84,780	
		施設整備等支出計(5)	9,930,000	9,845,220	84,780	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 9,930,000	△ 9,845,220	△ 84,780	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	672,000	262,018	409,982	
		その他の活動による収入		336,498	△ 336,498	
		その他の活動収入計(7)	672,000	598,516	73,484	
	支出	積立資産支出	25,464,000	25,749,334	△ 285,334	
		その他の活動支出計(8)	25,464,000	25,749,334	△ 285,334	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 24,792,000	△ 25,150,818	358,818	
予備費支出(10)			7,000,000 △ 2,841,538	—	4,158,462	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			6,250,000	18,304,970	△ 12,054,970	
前期末支払資金残高(12)			128,468,225	128,468,225	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)			134,718,225	146,773,195	△ 12,054,970	

貸借対照表　（2022・3・31現在）

（単位:円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	165,597,256	150,440,181	15,157,075	流動負債	36,698,862	40,740,156	△ 4,041,294
現金預金	120,660,996	113,017,192	7,643,804	事業未払金	10,979,553	10,693,212	286,341
事業未収金	12,310,651	10,406,785	1,903,866	その他の未払金	0	2,659,988	△ 2,659,988
未収金	531,505	2,659,988	△ 2,128,483	１年以内返済予定設備資金借入金	2,016,000	1,140,000	876,000
未収補助金	30,037,045	22,772,764	7,264,281	未払費用	4,426,618	4,123,305	303,313
未収収益	139,600	35,060	104,540	預り金	127,697	216,133	△ 88,436
立替金	424,907	2,264	422,643	職員預り金	3,296,494	4,279,318	△ 982,824
前払金	1,181,205	0	1,181,205	賞与引当金	15,852,500	17,628,200	△ 1,775,700
前払費用	311,347	1,546,128	△ 1,234,781				
固定資産	727,795,082	729,951,496	△ 2,156,414	固定負債	79,377,095	78,109,041	1,268,052
基本財産	463,244,545	480,466,106	△ 17,221,561	設備資金借入金	51,744,000	53,760,000	△ 2,016,000
土地	18,739,302	18,739,302	0	退職給付引当金	27,633,095	24,349,041	3,284,052
建物	443,505,243	460,726,804	△ 17,221,561	負債の部合計	116,075,955	118,849,197	△ 2,773,242
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	264,550,537	249,485,390	15,065,147	基本金	50,322,181	50,322,181	0
土地	9,253,160	9,253,160	0	第１号基本金	49,322,181	49,322,181	0
構築物	20,726,390	23,342,641	△ 2,616,251	第３号基本金	1,000,000	1,000,000	0
機械及び装置	15,842,071	17,046,243	△ 1,204,172	退職手当金等特別積立金	351,267,217	371,798,306	△ 20,531,089
車輌運搬具	424,287	476,158	△ 51,871	その他の積立金	167,350,000	145,350,000	22,000,000
器具及び備品	22,678,786	28,287,161	△ 5,608,365	保育所施設・設備整備積立金	144,850,000	124,850,000	20,000,000
ソフトウェア	0	401,748	△ 401,748	学童施設・設備整備積立金	10,000,000	8,000,000	2,000,000
退職給付引当資産	27,633,093	24,349,041	3,284,052	職員研修積立金	12,500,000	12,500,000	0
保育所施設・設備整備積立資産	144,850,000	124,850,000	20,000,000	次期繰越活動増減差額	208,376,985	194,071,993	14,304,992
学童施設・設備整備積立資産	10,000,000	8,000,000	2,000,000	（うち当期活動増減差額）	36,304,992	37,245,087	△ 940,095
職員研修積立資産	12,500,000	12,500,000	0				
長期前払費用	542,740	979,238	△ 336,498	純資産の部合計	777,316,383	761,542,480	15,773,903
資産の部合計	893,392,338	880,391,677	13,000,661	負債及び純資産の部合計	893,392,338	880,391,677	13,000,661

辞令交付式　新入職員９名

新入職員の皆さん

正職員の皆さん

４月１日(金)、２０２２年度の辞令交付式が行われました。

保育士８名、調理師１名の計９名の新入職員に辞令を交付しました。

また、２０２１年度キャリアアップ研修を終了した７名の臨時職員が正職員として登用。同じく辞令を交付しました。

昨今の保育士不足は、なかなか改善されず確保に苦慮しており、この傾向は今後も続くことが予想されます。

引き続き保育士の確保に努めるとともに、キャリアアップ研修を行い、正職員化に向け努力しています。

保育士の配置基準って？
子どもたちにもう一人の保育士を

国が決めた保育士の配置基準では園児の安全確保も保育の質を守ることも難しいことは、コロナ禍の下で一層明るみになりました。

「子どもたちにもう1人の保育士を」と世論と運動が広がっています。

保育士の配置基準って？

１９４８年に国が省令で定めた保育所の運営・認可に必要な保育士数の最低基準です。

４・５歳児は保育士１人に対しておおむね30人で、74年間変わっていません。２０１１年から自治体が条例で基準を定める制度になりましたが、国の基準以上に改善することはできません。

「おおむね」ってどんなこと？

例えば、１日11時間、週６日保育所を開けるために、４・５歳児30人に対して必要な保育士を計算すると１・１人になります。保育士は１人以上必要なので、２人配置すべきです。ところが「おおむね」となると、小数点以下は四捨五入するので保育士は１人でもいいことになります。

74年間変わらず

保育士の配置基準	子どもの年齢	保育士の必要人数
	０歳児	子ども３人に1人
	１、２歳児	６人に１人
	３歳児	20人に1人
	４、５歳児	30人に1人

園児の安全、保育の質を守るため自治体や園は独自に約2倍の保育士を配置していますが、保育所運営費は国の最低基準をもとに計算するため、賃金が当然低くなります。

配置基準改善と月８万円の賃上げを国民の世論と運動で実現しましょう。

給食室

保育園でつくる郷土料理
きりせんしょ

材料（４枚分）
- 白玉粉　…45g
- 上新粉　…48g
- 黒ゴマ　…少々
- 調味料（A）
  - 黒砂糖　…25g
  - しょうゆ　…10ml
  - 油　…6.5g
  - 水　…45ml

作り方

①白玉粉、上新粉に黒ゴマを混ぜておく。
②調味料（A）を沸騰させ①に入れてこねる。
③小判型に形をつくる。
④蒸し器で15分程蒸して出来上がり。

シリーズ わかばの保育⑦

子どもの全面発達をめざし、ピアノの音に合わせ走り、跳び、全身を動かすリズム運動について２回シリーズで紹介します。

①わかばは、どのようにリズム運動を行って来たか。

わかばでは、日常の生活や遊びに積極的に「リズム運動」を取り入れてきました。０歳児では、保育士が歌いながら子どもの動きを引き出し歌と動きが同調した楽しさが感じられるようにしています。「立っち」ができて歩けるようになると、リズムの楽しさを感じるようになります。

保育士のリードに反応し動き出しもう1回とせがみ、繰り返しリズムをするようになります。

また、生活発表会間近になれば、年長児が行う難しいリズムの「側転」や「楽しき農夫」などの様子を見て自分なりにやってみようとする０歳児も現れます。この０歳児の姿はたのもしく、保育士にとっては心打たれる場面です。

満１歳を過ぎ、身体がしっかりしてくると数人でホールにいき、周りをうかがったり見たり、リズムを一緒に体験したりするようになります。自分の部屋に帰ってから、見てきたとおりを再現して遊びます。

０歳児のリズム運動は、保育士や他の子どもとの共感性をもって、見ることやうたに合わせての動きを楽しんでいます。

②４・５歳児のリズム運動

４歳児の後半では、５歳児と変わらない動きをしはじめます。５歳児は４歳児の動きに刺激され「よりきれいに表現しよう」とお互いが高めあっていくようになります。また、年度後半になれば、リズムの曲と身体の動きが一体となった動きができるようになります。「かもしか・とんび・ちょう・側転」などに挑戦します。

保育士のリズムの美しさや動きの躍動感に、子どもたちは大きな刺激を受けます。同様に回りの子どもの素晴らしい動きには敏感に反応し「ああいう風になりたい」との願いをもち、切磋琢磨しながら取り組みます。

リズム運動は、子どもたちの毎日の生活と遊びに溶け込んでおり、朝なタな異年齢で取り組み「晴耕雨読(?)」とばかり「雨が降ればリズム、寒くて外出できないからリズム」と、子どもたちも保育士もリズムに癒され、励まされ、１年中リズムに取り組んでいます。（わかばの保育より抜粋）

おひさまキッチン
地域の絆広げて

「わかば会」の地域貢献事業としてスタートしたおひさまキッチンはコロナ禍の下で「フードパントリー」を開催。この７月で１７回目の開催になります。昨年度は１１回開催し、累計で子ども384人、子育て世代211世帯、高齢者等319人が利用しました。

同時に、たくさんの団体・個人から資金や物品等をいただいています。

おひさまキッチンの取り組みは、地域で絆を広げながら、微力ではありますが地域福祉の一環としての役割を果たしています。

あとがき

8月は鎮魂の月。わかば会の各保育園は、子どもたちに平和の尊さを伝える取り組みを行っています。

今年はどんなお話しになるのでしょうか。

ロシアによるウクライナ侵攻は、平和的な解決どころか一層激化し、心が痛みます。

ウクライナの事態を目の当たりにし「攻め込まれたらどうする」と声高にいう意見が聞こえますが、命がけで戦争をするより、戦争を回避する日常の努力こそが何より尊いことではないでしょうか。

あたりまえの生活は平和であればこそです。

（礼）

学童クラブの子どもたちが平和を願い作成したポスター